

# 福祉環境委員会記録

令和3年5月25日(火)  
9時57分～11時52分  
全員協議会室

【委員】柳楽委員長、村武副委員長

沖田委員、小川委員、岡本委員、佐々木委員、田畑委員、澁谷委員

【議長・委員外議員】西川議員

【福祉環境委員会 所管管理職】

〔健康福祉部〕猪木迫健康福祉部長、久保健康福祉部参事(新型コロナウイルスワクチン対策室長)、藤井  
地域福祉課長、板本健康医療対策課長、龍河子育て支援課長、  
井上保険年金課長

〔市民生活部〕森脇市民生活部長、野田環境課長、市原税務課長、土谷資産税課長

〔金城支所〕佐々尾金城支所市民福祉課長

〔旭支所〕西川旭支所長

〔弥栄支所〕三浦弥栄支所市民福祉課長

〔三隅支所〕鈴木三隅支所市民福祉課長

〔上下水道部〕有福上下水道部長、白根管理課長、谷口工務課長、大上下水道課長

【事務局】中谷書記

---

## 議題

### 1 執行部報告事項

- (1) 令和4年度国県重点要望事項について 【健康福祉部】
- (2) 浜田市基幹相談支援センターの開設について 【地域福祉課】
- (3) 島根大学医学部医学科「地域枠」及び市内看護学校卒業生・入学生の状況等について 【健康医療対策課】
- (4) 高齢者人口等の推移について 【健康医療対策課】
- (5) 浜田市敬老入浴券交付事業について 【健康医療対策課】
- (6) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について 【新型コロナウイルスワクチン対策室】
- (7) 浜田市の未就学児童の状況について 【子育て支援課】
- (8) 放課後児童クラブの入会状況について 【子育て支援課】
- (9) 浜田市病児・病後児保育室及び浜田市休日応急診療所の整備について 【子育て支援課・健康医療対策課】
- (10) 令和3年度浜田市国民健康保険料率について 【保険年金課】
- (11) 令和2年度ごみの排出量等について(報告) 【環境課】
- (12) 令和3年度軽自動車税(種別割)の当初賦課状況等について 【税務課】
- (13) 令和3年度固定資産税の当初賦課状況等について 【資産税課】

- (14) 金城地域断水防止対策について **【工務課】**
- (15) 市街地下水道整備事業について（浜田処理区） **【下水道課】**
- (16) 集落排水施設（地方地区、福浦地区）の公共下水道（三保三隅処理区）接続について **【下水道課】**
- (17) その他  
（配布物）  
・令和3年度子育て支援ガイド **【子育て支援課】**

2 その他

- 3 はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等への対応協議について（委員間で協議）

【議事の経過】

( 開 議 09時 57分 )

柳楽委員長	<p>ただいまから福祉環境委員会を開会する。ただいま出席委員は8名で定足数に達している。</p> <p>始めに4月1日付で人事異動があったので、異動された職員に挨拶をお願いします。なお、報告事項のない方は挨拶の後に退席いただくのでよろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;">《 異動のあった執行部からの挨拶 》</p>
柳楽委員長	<p>ではレジュメに沿って進めていく。執行部の説明、委員の質疑は簡潔明瞭をお願いします。資料はタブレットに配信しているので、補足説明のみ、あればお願いします。</p>

1. 執行部報告事項

(1) 令和4年度国県重点要望事項について

柳楽委員長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p>
健康福祉部長	<p>健康福祉部からは1点、医師・看護師等の医療従事者確保策について。担当課長から説明する。</p>
健康医療対策課長	<p>昨年度に引き続き、医師・看護師等医療従事者確保対策を要望している。要望内容は資料のとおり、地域特性を踏まえた医師確保計画の着実な実行と、浜田医療センター附属看護学校への継続的な支援等、地域の実態に対応できるよう医療従事者の確保や診療科の偏在解消について県知事に要望している。</p>
柳楽委員長	<p>委員から質疑はあるか。</p> <p style="text-align: center;">( 「なし」という声あり )</p>

(2) 浜田市基幹相談支援センターの開設について

柳楽委員長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p>
地域福祉課長	<p>3月の予算決算委員会でも説明したが、令和3年4月1日、障がいのある方やその家族・関係者を対象に障害福祉サービス全般に係る相談や情報提供を行うセンターを開設した。これまでは浜田圏域の基幹相談支援センターとして江津市と共同で江津市内に設置していたが、浜田市単独でセンターを浜田市内に開所できたことを報告する。</p>
柳楽委員長	<p>委員から質疑はあるか。</p>
岡本委員	<p>これまでこういった相談はどのような形でされていたのか。清和会ということだが、それまではいわみ福祉会が中心になっておられたのかと思っていた。違っていれば訂正してほしい。</p>
地域福祉課長	<p>これまでは江津駅前のパレットごうつ内に、江津市と浜田市が折半で費用を出し合って整肢学園へ運営を委託し開設していた。したがって浜田市内からの相談が距離的なこともあってなかなか難しく、</p>

- できれば浜田市単独でという思いがずっとあり、このたび清和会へ運営を引き受けていただいた。
- 岡本委員 浜田の人はそこへ既に行っておられたのか。例えば相談したい状況になれば、市へ相談があり、市からそこを案内していたのか。
- 地域福祉課長 基幹相談支援センターは、本人や家族もだが、かかわっている病院やサービスを提供する事業者が、単独では解決できない問題についてアドバイスを求める役割が大きかった。したがってそういった方々はこれまでも江津で相談されていた。
- 岡本委員 つまり医療関係からの紹介であり、今後も相談支援センターは医療関係を中心に案内されるのか。
- 地域福祉課長 医療関係もあるし、本人や家族からどこに相談したらよいかわからないといった直接の相談にも対応する。県や市の各事業者からの相談も全て、障がいにかかわるもの全般を受け付けることになっている。
- 岡本委員 皆、浜田市基幹相談支援センターというネーミングでこれが理解できるだろうか。一般的にこのネーミングだけではセンターの位置づけ、意味合いはわからない。どのように周知するのか。
- 地域福祉課長 周知が一番の課題だと思う。開所に当たり、新聞社3社に取り上げられたことが大きかった。6月の広報はまだにも掲載する予定である。またチラシを作成中で、事業所を中心に配ってPRしたい。またケーブルテレビにも協力いただくつもりである。
- 小川委員 前年度までは江津で利用されていた。予算的にも折半という話だったが、浜田市でやるならその倍必要ということで、パレットごうつでの相談業務の内容と、浜田でスタートする内容に大きな違いはあるのか。
- 地域福祉課長 相談の方式については江津と同じように幅広く窓口を設ける。4月末日時点の相談受付実績が24件あった。去年は浜田市と江津市合わせて243件だったので、既にそれを上回るペースで相談を受け付けている。浜田市に開設したことで皆が行きやすくなったのは大きかったと思っている。
- 小川委員 資料に、経験豊富な専門員が相談に応じ、とある。委託なので新たに予算内で別の方を配置するのではなく、今いる人員配置を基礎にしながら相談体制を敷かれるのだろうか、例えば医師や作業療法士やケアマネージャーは専門員に含まれているのか。
- 地域福祉課長 市からの委託で清和会の職員が1名専属で所長となっている。また医師が管理者となっている。所長については、清和会で長く指導相談をやっておられて大変熱心で、月に一度は浜田市の障がい福祉係に出張してこられ、市との情報共有や窓口で一緒にやっていただいている。
- 小川委員 大変頼もしい体制で安心した。時間外や休日も、緊急時は24時間対応とあるが、その方の負担が大きくなるのか、それとも誰か別の人がサブで対応されるのか。こういう相談をするときは精神的に不

	<p>安定な方がおられる中で、きちんとした対応がないと相談しにくい雰囲気が生じる。対応できる方の配置が望ましいがどうなっているのか。</p>
<p>地域福祉課長</p>	<p>このたび委託を受けていただいたのが清和会で、電話はグループホームと兼用である。グループホームで生活しておられるので24時間体制で職員がおられる。そのため電話は必ずつながるようになっている。医療機関であり、24時間体制はきちんと対応してもらっている。</p>
<p>柳楽委員長</p>	<p>ほかにないか。 私はできてすぐのころに、ここの職員にかかわっていただく事例があり、同行したが本当に親切丁寧に対応いただいた。そのときも市の障がい福祉係に相談してつないでいただいた。そういうつなぎ方ができることもしっかり周知していただきたい。</p>
<p>地域福祉課長</p>	<p>月1回定例的に市に来ていただく日を決めている。そこで全体の情報共有もし、なるべく一人や1か所の機関で抱え込むのではなく、皆で支援させていただく。県、市、事業所、家族が一緒になってやっていこうと話をしている。</p>
<p>柳楽委員長</p>	<p>そういったことも広報などで周知するのか。ここの直接の窓口でなくても、市の障がい福祉係に相談されればつなげられるといったことの周知もするということか。</p>
<p>地域福祉課長</p>	<p>市がかかわっていることはきちんとお知らせする。委託はしているがもとは市なので、提案していくつもりである。</p>
<p>柳楽委員長</p>	<p>ほかにないか。 ( 「なし」という声あり )</p>

(3) 島根大学医学部医学科「地域枠」及び市内看護学校卒業生・入学生の状況等について

<p>柳楽委員長</p>	<p>執行部から補足説明はあるか。</p>
<p>健康医療対策課長</p>	<p>( 「なし」という声あり )</p>
<p>柳楽委員長</p>	<p>委員から質疑はあるか。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>2年、3年を見て執行部としてどういう評価・分析をしているか。</p>
<p>健康医療対策課長</p>	<p>昨年度と今年度の分析だが、卒業生について、比較ではないが、半数程度が市内医療機関や介護施設に就職しており、浜田市の医療人材供給に大きな役割を担っていると思っている。 また半数程度が浜田市にとどまることもあり、若い方の人口流入と定着に寄与していると思っている。</p>
	<p>比較分析まではしていない。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>世間でコロナから定住につながっているという話が出ているので、そういう分析があるのかと思った。実際3年のほうが増えている。今後また情報収集をお願いします。</p>
<p>柳楽委員長</p>	<p>ほかにあるか。 ( 「なし」という声あり )</p>

(4) 高齢者人口等の推移について

柳楽委員長 健康医療対策課長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p> <p>2 番目の浜田市の要支援・要介護認定の推移について。認定率は23.53%と、前年の22.84%から0.69ポイント増加している。28年度末の23.88%をピークとして認定率は着実に減少してきたが、令和2年度は減少傾向にあった認定率が増となっている。</p> <p>令和2年度は島根県全体で見ても認定者数及び認定率は上昇している。増要因についてはさまざまあろうが、1 点目にコロナ禍による催し物の中止や外出自粛等により、高齢者の運動機会が減少したことが要因ではないかと思っている。また2 点目に、高齢者人口は平成29年にピークを迎えたが、いわゆる団塊世代の後期高齢化が進み始めているのも一因かと思っており、これに伴い介護認定率も上昇し始めたかと思っている。今後、後期高齢者の増加は予想され、それに伴い支援の必要な方が増えていくことが懸念され、認定者数・率共に増に転じてくるのではないかと考察している。</p>
柳楽委員長 澁谷委員	<p>委員から質疑はあるか。</p> <p>浜田市は健康寿命日本一を目指すべきと思っている。旭と弥栄の認定率が非常に高くなっている。この分析はどうか。</p>
健康医療対策課長	<p>地域別の認定率であるが、旭と弥栄は人口規模が小さい中、特別養護老人ホームや養護老人ホームなどがあるため、要介護高齢者が多いことが要因ではないかと思っている。</p>
澁谷委員	<p>三隅にもあるが。</p>
健康医療対策課長	<p>弥栄と旭については先ほど説明したようなことが原因だと思っているが、三隅については把握していない。</p>
澁谷委員	<p>先日まちづくりコーディネーターの説明を聞いたが、三隅はコミュニティナースを2人雇い、戦略的に意識が高いと感じた。三隅地区はこれまでのそういう努力、考え方や意識が成果を上げている気がするのだが、関係していないか。</p>
健康医療対策課長	<p>そういった状況もあるのではないかと思う。</p>
村武副委員長	<p>進行を交代する。</p>
柳楽委員長	<p>介護認定区分ごとの人数がもしわかれば、できれば資料としていただきたい。</p>
健康医療対策課長	<p>令和3年3月末の数字は用意している。口頭でよいか。</p>
柳楽委員長	<p>資料でいただきたい。できれば数年の推移をお願いしたい。</p>
健康医療対策課長	<p>準備する。</p>
柳楽委員長	<p>できれば、認定率の数字も上げてもらっているのですが、今後こういう資料を出す際は、それもその都度出してもらうことは可能か。</p>
健康医療対策課長	<p>そのように準備する。</p>
柳楽委員長	<p>コロナでいろいろなことがなくなり、認定率も上がったと聞くので、区分別にも変化があると考えた。</p>
村武副委員長	<p>進行を交代する。</p>
柳楽委員長	<p>皆、資料をもとめてよいか。</p>

( 「はい」という声あり )

村武副委員長 令和2年の認定率が上がった。コロナの影響で運動の機会が少なくなったと言われた。これからもコロナ禍は続くと思うが、どのような対策を考えているか。

健康医療対策課長 これまでも減塩などの食事指導、栄養指導を行っており、また100歳体操などの運動や集まりの場を提供しているので、引き続きこれらを定期的に提供していきたい。

柳楽委員長 ほかにないか。

( 「なし」という声あり )

#### (5) 浜田市敬老入浴券交付事業について

柳楽委員長 執行部から補足説明はあるか。

健康医療対策課長 ( 「なし」という声あり )

柳楽委員長 委員から質疑はあるか。

沖田委員 令和2年の利用枚数が下がっている理由はどのようにお考えか。

健康医療対策課長 恐らく事業実施3年目に入り、利用者が減ってきた。

( 「コロナの影響では」という声あり )

沖田委員 コロナの影響もあると思う。

健康医療対策課長 先ほど言われた3年目だからというのも少しあると思う。健康増進や社会参加を目的にしているのなら、入浴以外の食事にも転用できるといったような工夫も今後図ってはどうか。

柳楽委員長 参考にさせていただき、どのような支援ができるか引き続き考えていきたい。

柳楽委員長 ほかにないか。

( 「なし」という声あり )

#### (6) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

柳楽委員長 執行部から補足説明はあるか。

健康福祉部参事 5月17日から65歳以上の高齢者への一般接種が始まった。5月10日から予約受け付けとアナウンスしており、大変多くの方から医療機関へ問い合わせがあった。始まったばかりのときには大変多くの電話があり、つながりにくいとか予約が取りにくいなどの問い合わせもあり、市民にご迷惑をおかけした。医療機関の方も、準備や対応、その他難易度が高いものであり、大変お力を割いていただいた。接種そのものは特段のトラブルもなく順調に動いている。

接種の実績は日々数字が動いている。資料は5月17日現在の数字だが、直近の5月23日現在の数字を口頭で補足する。表に従い、5月23日時点で、1回目の医療従事者1909。高齢者1315。高齢者施設従事者82。接種回数2回目のところで、医療従事者1463。高齢者が192。高齢者施設従事者18。総数4979回という実績となっている。

また最後、高齢者集団接種に触れている。個別の36の医療機関で接種していただいているが、その補足の形で7月に別途会場を設け

柳楽委員長  
岡本委員

て接種ができるよう準備を進めている。

委員から質疑はあるか。

医療機関によって締め切ったところ、まだ受け付けているところがあると聞いたが、ワクチンはどういう供給状況になっているのか。65歳以上全てに供給されるのだと思うが、定期的に入るものを医療機関に向けて送り、医療機関が受け付けて対応されているのか。

健康福祉部参事

ワクチンの供給に関して、資料の中には5月中に10箱、6月最終週には高齢者の2回目接種可能分とある。最初に入ったのが4月下旬だったかと思うが、順次入るものに対して個別に接種いただく医療機関の状況を見ながら、市でこのタイミングでこのくらい出せると。

実際には週2回、各医療機関に送るよう段取りをしており、各医療機関からオーダーをいただきながら順次出している。当初はワクチンが限られていたので、上限を市で設定して、皆に知らせながら調整を進めている。そういう関係で、ワクチンの量が限られていた中で各医療機関がどのくらいの予約を受けるかで、接種が進みにくい状況があった。今は順次、何日に何箱ワクチンが入るといった情報を県から受けて医療機関に発信し、今後の見通しを持って計画していただいている。各医療機関へもう少し増やせるといったこともお知らせしながら進めてもらっている。様子を見て前倒しを予定するといった話も幾つかももらっている。小まめに情報発信したい。

岡本委員

かかりつけ医がない方は、いつごろ受けられるか。周知はどうなっているか。

健康福祉部参事

つながらなかつたり、思うような予約が取れなかったという話が当初たくさんあった。緩和されてきているが、全ての方が希望どおりになってない現実がある。新たに7月に別途会場を設けることにしている。細かい内容は近日お知らせしたい。6月1日の広報はまだへの掲載には至らなかったが、行政連絡員の協力を得て、各戸への配付をお願いしたいと思っているし、できれば新聞折り込みやケーブルテレビなどで広く発信したい。

岡本委員

集団接種がそのような案内になるということか。

健康福祉部参事

新たに集団接種の会場を設けることについては今のように準備しているし、皆にお知らせしたい。個別医療機関には、ワクチンの納入状況を発信して、どのくらいできるというのを確認してもらいながら接種を加速していただいている。医療機関の予約情報は、高齢者の方には見にくいかもしれないが市ホームページに逐次更新しながらお知らせしている。

小川委員

国からは、7月末には最低限65歳以上の高齢者は100%済ませるよう強い指導が来ていると思う。それに対し、各自治体から厚生労働省へ回答されていると思うが、開業医で対応できずに間に合わないと判断したときに集団接種という判断になるのだろう。浜田市としては国へどういう報告をしているか。

- 健康福祉部参事 4月末に、65歳以上の高齢者への接種は7月末までに完了ということで国から通知をもらっている。島根県は、全自治体が7月末の完了を目指すという回答している。
- 小川委員 何をもちて完了とするかだが、浜田市は高齢者の80%が2回の接種を終えられるように進めている。かねてから別途会場での集団接種を検討していたが、このたびの7月末までという話が出てきたので、個別の医療機関でできにくい部分を補完するという意味で、設置を確定して進めようとしている。
- 健康福祉部参事 先ほど実績を報告されたが、該当する医療従事者の実施率はどのくらいか。
- 健康福祉部参事 医療従事者の方は補足だが、V-SYSでの状況確認になる。市中の医療機関で接種された実績ということなので、場合によっては江津の方も含んでいる可能性はある。1909は子どもが聞いている市中の医療機関の医療従事者をほぼ満たしており、医療従事者の1回目はほぼ終わっている。2回目はまだ数百回分という様子である。今月から来月にかかるかと思っているが、そのあたりで完了する見込みである。
- 小川委員 2回接種された方から結構な割合で聞くのが、副反応がかなり重いと。そういう情報は市に入ってきているか。
- 健康福祉部参事 かねてより治験で、痛みや倦怠感が半数以上から出るだろうと聞いているし、発熱も3割超ある状況だと聞く。市内でも接種をされてほぼそのような状況と聞いている。ただし、接種後1日、2日はそういった状況が顕著に見られるが、そこからは、ほぼ引いていく。必ず一定の痛みや倦怠感はある、ある種避けられないものと考えて臨んでいただければ。
- 小川委員 高齢者施設の従事者は接種が進んでいるが、訪問されるヘルパーなどは高齢者施設の従事者に含まれるのか、そのあたりの実施状況はどうか。
- 健康福祉部参事 高齢者施設の従事者は、定義として入所系施設に限定されている。デイサービスなどの通所施設やヘルパーはその範疇に入っていない。施設の入所者が接種するのに付随して施設の従事者の方も接種する形でやっているのでは、全ての方に接種するような進め方にはなっていない。
- 小川委員 それは国が基準を示して、それに浜田市も従ってされているということか。
- 健康福祉部参事 そのとおりである。もう少し厳密に言えば、非常に感染が進んでいる地域では在宅系の方を含んで裁量の範囲で考える部分もあるが、浜田市は全国のレベルでいえばそこまで感染が広がっていないので、国から出された基準に沿って優先順位を設定している。
- 小川委員 今後の市内や近辺の感染状況によっては、そういう検討をすることも考えられるということか。
- 健康福祉部参事 今は高齢者の接種が進みつつある。対象者は、今後どのようにす

- るか、改めて考えたい。
- 小川委員  
健康福祉部参事  
ワクチンの端数が余る問題などは現状で特に起きていないか。  
施設の入所者の方に端数が出れば従事者に打ってもらったり、各医療機関で担っていただくときは何らかの待機者リストのようなものを用意してもらい、場合によって穴埋めをしてもらっている。現在のところ、始まって約1週間だがその部分で大きく課題になっている部分は見受けられない。
- 澁谷委員  
市民の皆さんから寄せられた声を整理すると、浜田市内の個別の医院では、かかりつけということで内科医での受け付けが多く、外科などでは少ない。その結果、内科では予約しても受け付けはしたが、日にちが決まってないなどもあるようである。7月末までに高齢者の方は終わるので、市で調整することは考えていないか。
- 健康福祉部参事  
医療機関で受け付けの仕方が違う。相当数受けてもらって、日にはワクチンの供給状況によってお知らせする形を取っているところもある。そういう関係で、場合によって7月を過ぎないといけないところもある。医療機関ごとにできている部分を市がかかわってここへ、といったことは想定していない。かかりつけ医に診てもらうことが望ましいが、現状そこだけで賄いきれないこともあり、多くの医療機関を利用してもらっているところもある。そのあたりの調整は難しい。予約が取れなかった場合に備えての別途会場ということもある。予約を受けたところでできるだけ進めてもらいたい。
- 田畑委員  
旭ではまちづくりセンターで集団接種をやると聞いた。集団接種をするのであれば、できるだけ早く周知をしないと。今、病院で受け付けてもらえない方もたくさんいる。7月末までに2回の接種するのは不可能では。だから集団接種が必要なのであろうが、地域性もあり、旭は診療所が一つしかなく、邑南町の病院に行く人もいる。町外は受け付けてもらえないから旭の診療所でとなるが、邑南町との境の方は行けない。そういったところを早く考えてどのようにするか周知しないと、住民は大変不安である。集団接種するスピードを少し早める必要があるのでは。個別は限界だと思う。
- 健康福祉部参事  
まず旭の話を補足させていただく。今回のワクチンは住民票のある自治体での接種を大原則としているが、旭では邑南町の医療機関をかかりつけ医にしている方が市内の中でも特別多かったのが、ここは始まる時点で通常に対応とは別に考えなくてはいけないというのがあった。そういうわけで、通常と異なり、別途会場を設けた。集団接種の案内については、会場と日時をある程度想定し、それを担っていただける協力者を募っている。それらの見通しが立てば6月上旬から中旬には市民にご案内させていただきたい。
- 田畑委員  
旭の場合、邑南町へ行く方がかなりおられる。ワクチン接種は各自自治体でということなので、邑南町へは行けないため、旭はまちづくりセンターでやるということだが、それは本当か。

健康福祉部参事

昨年、インフルエンザでそれぞれの医療機関の実績を見る中で、市木と都川は邑南町が非常に多かった。しかし邑南町は個別接種をしないという方針を出したため、邑南町をかかりつけ医にしている方は接種できないことになってしまう。その対策として当初から想定して進めていた。江津市や益田市では個別接種をされるので、そこがかかりつけであれば接種が可能な場合がある。なので取り扱いが特殊なため、今のような経緯で別途用意した。

柳楽委員長

ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

### (7) 浜田市の未就学児童の状況について

柳楽委員長

執行部から補足説明はあるか。

子育て支援課長

平成24年度からの未就学児童数の推移を載せている。人口減少に伴い、未就学児童数及び施設入所児童数も年々減っている。

真ん中の棒グラフの未就学児童数は年々減っているが、折れ線グラフの施設入所児童率は上がっている。

次ページの各施設の入所状況について、3歳から5歳の約98%の子どもがいずれかの施設に入所しているが、施設未利用者が19人いる。それぞれ、他施設への入所や4月2日以降の施設入所、外国への出国、市外へ転出など、現状を全て把握している。

柳楽委員長

委員から質疑はあるか。

( 「なし」という声あり )

### (8) 放課後児童クラブの入会状況について

柳楽委員長

執行部から補足説明はあるか。

子育て支援課長

昨年度に比べ約80人減である。過去5年間の利用者を見ると、令和元年度をピークに減少している。もともと年度途中で留守番ができるようになったなどの理由で退会する子どもが多いと感じていた。令和2年度はコロナの影響で自宅で過ごすことが多くなったり、クラブに行かなくても留守番できると保護者が判断されたり、また集団生活が心配という方がいるかもしれない。放課後デイサービスに移行した子どもの中にはいるかもしれないと分析している。

柳楽委員長

委員から質疑はあるか。

( 「なし」という声あり )

### (9) 浜田市病児・病後児保育室及び浜田市休日応急診療所の整備について

柳楽委員長

執行部から補足説明はあるか。

子育て支援課長

病児・病後児保育室については、定員を6名とし、事業手法を検討した結果、指定管理の方針で進めることとした。

柳楽委員長

委員から質疑はあるか。

村武副委員長

進行を交代する。

柳楽委員長

指定管理に出されるとのことだが、医師との連携体制の確保の状

子育て支援課長 況はどうなっているか。  
 協力医療機関や指導医を選定することとなっているので、そのように進めていく。  
 村武副委員長 進行を交代する。  
 柳楽委員長 ほかにないか。  
 ( 「なし」という声あり )

(10) 令和3年度浜田市国民健康保険料率について

柳楽委員長 執行部から補足説明はあるか。  
 保険年金課長 ( 「なし」という声あり )  
 柳楽委員長 委員から質疑はあるか。  
 澁谷委員 見てもよくわからない。これまでの6,980円が幾らになるのか。  
 保険年金課長 6,980円とは。  
 澁谷委員 今まで1号被保険者の介護分月額が6,980円ではなかったか。  
 保険年金課長 介護分については、裏面の一番下に保険料のモデル世帯による試算を載せているが、介護分については今年48,000円となる。6千幾らという額はこれまでもなかったと思う。  
 健康福祉部長 先ほどの介護保険の65歳以上の1号被保険者の月額であり、こちらは2号被保険者で65歳未満の方で、国民健康保険料として介護を別に料率と世帯割、加入者で取らないといけない部分になるので計算方法が全然違ってくる。介護だけは基金を使わず率で計算するので、補足説明はしなかったが今回介護分は全体で料率と均等割・平等割も下がっているという計算になる。  
 澁谷委員 6,980円という島根県で一番高いイメージがあったがそれは65歳以上で、これは2号なのでここに出てないということで、私の理解が間違っている。  
 健康福祉部長 先ほどの6千幾らは令和2年度の金額で、広域行政組合が計算して出しているものである。今回少し下がった計算で出していると思うが、こちらは、65歳未満は加入保険で介護保険料を払うことになるので国民健康保険に加入している方はこの率、均等割、平等割で保険料をいただくことになっている。  
 柳楽委員長 ほかにないか。  
 ( 「なし」という声あり )  
 1時間経過したため休憩を取りたい。再開を11時10分とする。

[ 11時02分 休憩 ]

[ 11時11分 再開 ]

(11) 令和2年度ごみの排出量等について (報告)

柳楽委員長 執行部から補足説明はあるか。  
 環境課長 ごみ排出状況の前年度比較と目標値をごらんいただきたい。  
 ( 以下、資料読み上げ )

裏面の特徴的なところだが、左の12番、13番で、燃やせるごみ、燃やせないごみの直接搬入量が増加している。これはコロナの関係で在宅時間が長くなり、家の片づけなどをされた方が直接持ち込まれることが増えたことによるものと考えている。

24番のリサイクル率は、0.46ポイント減少しているが、主な原因としては4番で古紙の回収量が100トン余り減少している。要因は電子書籍による紙の出版物の減少や、民間事業者が無料回収ボックスをスーパーなどへ置いているので、そちらへの搬出が増えたことが原因と考えている。

柳楽委員長  
澁谷委員

委員から質疑はあるか。

今の説明でいくと一人あたりの排出量が増えて、全体が減ったということは、人口が減ったからか。

環境課長  
澁谷委員  
環境課長

人口減少による排出量の減少である。

担当課の戦略・戦術が功を奏したということはないのか。

残念ながら人口減少によるところが大きくなっているが、引き続き分別の徹底や水切りなどは周知していきたい。

岡本委員

リサイクル率、民間企業の回収ボックスなどに入れられた数量はこの表に反映されるものか。

環境課長

こちらの表には反映されていない。民間事業者が回収している古紙やスーパーマーケットのトレイなどの数量把握にも努めたのだが、事業者でも個別店舗の把握ができていないなどのため、思うように回答をいただけなかった。そちらは何らかの形でその数量を表せないか検討中である。

岡本委員

市民の意識がどれだけ高くなったかが民間事業者の分では見えない。スーパーなどに設置され、公的な指導もあったのだろうが、非常に多くの人が新聞紙などを持って行かれる。相当な量を事業者が1日に何回も回収しており、市民のリサイクルに対する意識もあると思う。環境問題もある以上、そこはぜひ企業としっかり話をされて、資料やデータをいただいて、浜田市民の意識がどう変わっていくか、あるいは下がっていくか、把握してほしい。

環境課長

昨年来から企業にもいろいろ話をさせてもらい、何とか数をつかむ方向でやっていた。難しい面もあるが把握するよう努めていきたい。

柳楽委員長

ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

## (12) 令和3年度軽自動車税(種別割)の当初賦課状況等について

柳楽委員長  
税務課長  
柳楽委員長

執行部から補足説明はあるか。

( 以下、資料読み上げ )

委員から質疑はあるか。

( 「なし」という声あり )

(13) 令和3年度固定資産税の当初賦課状況等について

柳楽委員長  
資産税課長

執行部から補足説明はあるか。

(1)をごらんいただきたい。今年度の当初賦課調定額は37億7900万円で前年度より2億2600万円の減少である。主な減少理由は、土地は地下下落により約2800万円の減額になっている。次に家屋は評価替えによる減額が約3600万円、新型コロナウイルス感染症対策による減額が約5100万円で、合わせて約8700万円の減額である。

償却資産については、一般償却の減価による約3500万円の減額、新型コロナウイルス感染症対策による減額が約2500万円、さらに総務大臣配分による減額が約5000万円になっており、合わせて1億1千万円の減額となっている。

(以下、資料読み上げ)

柳楽委員長  
澁谷委員

委員から質疑はあるか。

浜田市の自主財源70億円の半分が固定資産税である。今後、この推移からすると毎年人口減少の中で評価が下がっていくような印象を持つ。課長はどのような今後の分析をされているか。

資産税課長

言われたとおり土地も下げどまりになったとはいえ少しずつ減少し、今年度も2800万円の減少になっている。家屋に関しては今年3年に1回の評価替えで、3600万円の減額になっている。新築が以前に比べ減ってはいるが150棟近くの新築がここ数年続いているので、家屋はそれほど心配していない。

償却資産は当初予算算定時点で、これほど減ると思わなかったのだが、一般償却が3500万円減っていた。これはコロナの関係で事業者が設備投資などを先送りされた影響なのかと分析している。固定資産税は少しずつ減ってきてはいるが、土地は、これ以上はそれほど減っていかないと考えている。これから少子化が進むと、家屋が建たなくなり、そちらのほうがかなり痛手になるのではと分析している。やはり新築が進まないの家屋が経年で確実に減価していくので、心配である。

澁谷委員

浜田市は空き家が増えていて、空き家の固定資産税が安いから処分できない。固定資産税を上げたほうがよいという意見もある。今の金額では安いから放置しているのだという意見があるのだが、標準的な評価をしていくと、もう住めないような家でも結構な評価額をしていく。それが増えていくのでは。

資産税課長

一般的な家屋だと25年から30年たつと、最初の評価額から2割は確実に落ちる。その2割が高いか安いかはいろいろな場合があり何とも言えないが、それがあることによって土地が安くなっているため解体が進まないということはある。

大体の家が古い家の評価額より、その家が建っていることで恩恵を受けている土地の税額のほうはるかに高いので、皆解かないから危険家屋がどんどん増えている。特に山間部にはとても住める状態ではない家がちらほら見えるので心配している。

岡本委員 資産税課長	<p>人口減少によって古い家が空き家になっていき、税額は安くはなっていると思う。住めないような家は、調査により価値がないとして税額は落とす。納税者から相談を受け、とても住めない家に関しては税金がかからないよう対応させてもらっている。加えて、廃屋敷地ということでそこまで高くないような配慮もしている。税金的にはそこまで負担にならない方法は取っている。</p> <p>償却資産で、総務大臣配分による減額とは何か。</p>
岡本委員	<p>総務大臣配分とは、一般事業者と違い、浜田市外にもいろいろ事業展開をしているものを国に申告していただき、国から我々に数字の通知がある。わかりやすく言うと鉄道や電話関係。浜田市以外にも事業を幅広く展開しているものが該当する。</p> <p>国に納めたもので本来は浜田に入るものが減額、浜田の税収が5000万円ないということ。</p>
資産税課長	<p>減価償却の減額が3500万円とのことだが、事業所の事業税ではないし、その説明をお願いします。</p> <p>償却資産は設備や物にかかるものだが、事業者は機械や装置を使って事業を展開されている。その物に対してかかる固定資産税で、減価償却率が決まっており、毎年落ちていく。その合計が3500万円になる。</p>
岡本委員	<p>事業をされている方は、製造する機械やパソコンなどある程度のサイクルで更新されるが、去年はそれがなかったのではないかと分析している。家屋は3年に1回だが、償却資産は毎年更新し、それが償却資産の減額につながったのだろう。</p> <p>税法上で10分の1ずつ減額していき、例えば利益があっても償却資産としてこれを落とさせてもらう形で引いていく。この部分はわかるが、市税の税法上の償却の位置づけが理解できないのだが。新規に買い入れして、その時に幾らか落とすが、そのことを言っているのか。</p>
資産税課長	<p>わかりやすく言うと、税務署に事業をするための資産を経費として計上する、それに対してかかる固定資産税であり、同じように減価償却していく。</p>
岡本委員 柳楽委員長	<p>後で勉強する。私の感覚が違うのかもしれない。</p> <p>ほかにあるか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p>

(14) 金城地域断水防止対策について

柳楽委員長 上下水道部長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p> <p>5月10日に委員会を開催していただき、感謝する。今回の件で委員へのきめ細やかな情報提供ができていなかったのではと大変反省している。今後はこのような定期的な委員会の開催ごとに何らかの形で進捗状況を報告したいと思う。詳細については工務課長から報告する。</p>
-----------------	---

工務課長  
柳楽委員長

( 以下、資料読み上げ )  
委員から質疑はあるか。  
( 「なし」という声あり )

**(15) 市街地下水道整備事業について (浜田処理区)**

柳楽委員長  
下水道課長

執行部から補足説明はあるか。  
昨年度認可を取得し、管路の基本設計と処理場とする予定地の移転補償を行った。  
今年度の予定は、まず市民へ引き続き事業の周知と説明を行い、次に処理場の建設予定地の用地取得と基本設計を実施したい。  
最後に管路の整備工事にあたり、工事発注に係る調査業務として官民連携導入可能性調査を行いたい。こちらは官民連携の具体的なものだが、管路整備においては他自治体でも導入実績がある。設計・施工の一括発注方式を踏まえて、導入可否についての調査・検討を行いたい。

柳楽委員長

委員から質疑はあるか。  
( 「なし」という声あり )

**(16) 集落排水施設 (地方地区、福浦地区) の公共下水道 (三保三隅処理区) 接続について**

柳楽委員長  
下水道課長

執行部から補足説明はあるか。  
昨年度は、地方地区で農業集落排水の公共下水道への接続管路工事を行い、今年度4月より公共下水道へ統合を行った。  
今年度については事業最終年度となる。福浦地区で漁業集落排水の管路工事を行い、令和4年度4月公共下水道への統合を予定している。

柳楽委員長

委員から質疑はあるか。  
( 「なし」という声あり )

**(17) その他  
(配布物)**

**・令和3年度子育て支援ガイド**

柳楽委員長

執行部から子育て支援センターについて報告があるとのことなのでお願いします。

子育て支援課長

資料はないが、来年4月オープン予定の子育て世代包括支援センターについて報告する。

今年1月の福祉環境委員会において、子育て世代包括支援センターの建築工事契約については6月定例会議に上程する予定と報告したが、詳細を詰めていく中で建築主体工事費用が1億5千万円を下回る見込みとなった。議決事項ではなくなったことを報告させていただく。

柳楽委員長

委員から質疑があるか。

工務課長	<p>( 「なし」という声あり )</p> <p>次に元浜町での漏水について執行部から報告をお願いする。</p> <p>先週17日月曜日だが、元浜町で漏水が起こった。その経過については議員の皆にも情報提供したものを、改めてここに掲載している。</p> <p>当日13時50分に市民からの通報などにより状況を把握し、対応し、最終19時30分までのところで給水所の開設から全てを終了した。</p> <p>2点目、3点目も情報提供したとおりである。</p> <p>4番目、漏水の原因としてここに記載した。</p> <p>( 以下、資料をもとに説明 )</p>
柳楽委員長 澁谷委員	<p>委員から質疑があるか。</p> <p>毎年上下水道部は管の更新に3億円前後を使っている。こういう破損が起きたのは、その順番が間違っていたのか。</p>
工務課長	<p>去年やっていたら確かに今回の漏水はなかったであろう。昨年2月に委員会にも報告した更新計画がある。市内の水道管、全部で約1200キロのうち、優先して更新するもの、今後20年で60キロを抽出した。その中で40年以上のものが一つの指標になっているので、ここも対象になっている。さらにその中でも60年以上たっているものや、昨年までは西川病院などの緊急時の避難所などに順序をつけて対応している。ご指摘のとおりその順序がどうかと言われると、先にやっておけば今回防げたのは確かにそのとおりだが、なかなかはっきり予測できない。昨年2度もこのような報告をさせていただいた。これからはないように、更新計画に基づいて行っていくが、計画どおりに防げなかった場合は、また細かく報告させていただきたい。</p>
柳楽委員長	<p>ほかにないか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p> <p>配布物として令和3年度子育て支援ガイドがある。確認をお願いする。</p> <p>ほかに執行部から何かあるか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p>
地域福祉課長 柳楽委員長	<p>では執行部からの報告事項について、6月4日に開催される全員協議会へ提出し説明すべきものを決定したい。まず執行部の意向を確認したい。</p> <p>執行部からは(6)、(14)、(15)の三つを提案させていただきたい。</p> <p>執行部の意向が報告されたが、委員からご意見はあるか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p> <p>ではこのとおりとする。</p>
2. その他 柳楽委員長	<p>執行部から何かあるか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p>

委員から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

では、執行部は退席いただいて結構である。

《 執行部退席 》

### 3. はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見等への対応協議について

柳楽委員長

議会広報広聴委員会からの文書をごらんいただきたい。この件については4月12日の全員協議会において提案があり、読者アンケートに寄せられた意見に対して、各委員会で対応を協議することとなった。対応経過及び結果については6月21日、月曜日までに報告し、その内容は9月1日発行予定のはまだ議会だよりV o 1 . 62において、読者アンケート特集ページに掲載される。

また委員会において、読者に向けてアンケート調査を行いたい項目があれば、提案するよう依頼されている。

今回、読者アンケートに寄せられた意見についての対応を検討したいが、福祉環境委員会に2件の意見が寄せられている。

1点目はPCR検査の関係、2点目は下水道の関係のものである。

( 以下、資料をもとに説明 )

どのように対応すべきか。現在の状況くらいしかお伝えできないかと思うが、そういう形でよいか。

( 「はい」という声あり )

では2点目。これについてはいかがか。

( 「計画がある」という声あり )

先ほどあったように、今後、黒川のあたりについては令和9年に完了予定となっているので、そういった整備計画についての報告をさせていただくということによいか。

( 「はい」という声あり )

ではこの2点についてはそういう回答をさせていただきたい。

次にアンケート調査を行いたい項目があればお願いする。

( 「なし」という声あり )

提案がないということで、これについては終わりたい。

読者アンケートの意見に対しての協議結果については、正副委員長でまとめ、議会広報広聴委員会へ報告したい。

以上で福祉環境委員会を終了する。

( 閉 議 11時52分 )

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員長 柳楽 真智子 ⑩